



NEWSLETTER

つくばデジタルバイオ国際拠点ニュースレター

国際活動・広報活動 特集号

2023年11月20日

vol.7. 2023 初冬号

国際活動レポート

筑波会議 2023 で拠点のセッションを開催しました。

2023年9月26日(火)～28日(木)

つくば国際会議場にて

筑波会議 2023 が開催されました。



2023年9月26日(火)～28日(木)

つくば国際会議場にて筑波会議 2023 が開催されました。当拠点は、日本貿易振興機構(JETRO)と共に筑波会議 3日目 10:30～12:00 コンカレントセッションを開催しました。

【C-20】つくばデジタルバイオ国際拠点&JETRO-食薬資源研究が担う地球の未来

9/28 (Thu.) 10:30-12:00
Tsukuba International Congress Center 201B Onsite / Hybrid

Tsukuba Digital Bio International Center & JETRO - Food Resources Research for the Future of the Earth

Speakers: Hiroaki Nishiyama (University of Tsukuba), Hiroko Inoue (University of Tsukuba), Yoko Yamamoto (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology), Professor of Animals (University of Tsukuba), Mamiya Shunpei (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology), Marien Baloun (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology), Yusaku Mori (The Japan Food Product Organization), Y. Tsukuba (JETRO), Toshihiro Morita (University of Tsukuba).

TSUKUBA CONFERENCE 2023
Design the Future
Curiosity-driven Quests for Global Solutions

セッション概要：科学技術振興機構・共創の場形成支援プログラムの採択拠点「つくばデジタルバイオ国際拠点」は、日本貿易振興機構(JETRO)との協働により、国際的なイノベーション・エコシステムの構築を目指している。その中で「食薬シーズを用いた新たなサプライチェーンの創出」は本拠点の主要な研究開発課題である。本セッションでは、食薬からの健康改善、疾患予防のエビデンス構築、さらにそのサプライチェーンの創出やプロモーションをどのように連動、拡大し、グローバルサウスとともに地球規模の問題解決に貢献できるかを討議する。

本拠点のビジョンである「全世代が Well-being である社会」を創出するために様々な意見交換を行いたい。

当拠点の筑波大学 医学医療系 教授 西山博之プロジェクトリーダーの拠点の紹介と開会のあいさつに始まり、5名の登壇者の先生方の講演があり、総合討論では、食薬資源研究が担う地球の未来の視点から「全世代が Well-being である社会」を創出するために5名の先生方が討論されました。

最後に筑波大学医学医療系 教授 森賀俊典プロジェクトリーダーによる拠点における産学共同研究の紹介と閉会のあいさつで締めくくりました。



【C-20】アーカイブ動画はこちら↓

https://www.md.tsukuba.ac.jp/clinicalmed/digitalbio/video/tsukuba_conference2023_c20

※筑波会議は、筑波研究学園都市に世界から産官学の優秀な若手を中心とする人材が集まり、「社会と科学技術」の諸課題について議論し、ネットワークを形成する国際会議です。

筑波会議公式HP <https://tsukuba-conference.com/>

「Digital Health and Medicine 2023」を開催しました。

2023年9月29日、筑波大学－国立台湾大学共催シンポジウム「Digital Health and Medicine 2023」が本学にて開催されました。

2023年9月29日、国立台湾大学との共催シンポジウム「Digital Health and Medicine 2023」が本学にて開催されました。このシンポジウムは、人工知能やロボットを活用した医療・介護分野の両学の最新研究について、本分野に興味のあるアカデミア・企業などの研究者を対象として開催されました。

当日は開会に先立ち両学より池田 潤 副学長（国際担当）および Hsiao-Wei YUAN（Vice President for International Affairs）がスピーチを行い、口頭12演題およびポスター19演題の発表があり活発な議論がなされ、約140名の参加者（オンサイト・オンライン）がありました。



本シンポジウムを通じて、今後の両学の共創による医療分野における人工知能を用いた先端技術の開発および、その医療・介護への社会実装に向けた国際的な緊密な連携活動が期待されます。



国立台湾大学は本年3月に本学がつくばを中核とした国際的な産学官・民の共創を促進する活動として支援する「つくばデジタルバイオ国際拠点」へ参画し、本学と共に同分野における共同研究テーマの発掘や人材育成を推進しています。



広報活動レポート

BioJapan 2023 に 当拠点のブースを 出展しました。



2023年10月11日(水)～13日(金)の3日間、パシフィコ横浜にて BioJapan / 再生医療 JAPAN / healthTECH JAPAN2023 を開催されました。当拠点もブースを出展いたしました。

37 各国・地域から 1030 社・団体ほどが出展されており 3 日間を通して、16,138 名の方に来場した大規模なバイオの展示イベントでした。多くの企業・団体の最先端の技術・製品、ビジネスモデル出展されていました。

特に、医療分野へのデジタル化が急速に進む中、AI を活用したスタートアップや in silico 技術の発展により IT 業界からの出展があり、モダリティーが多様化し医療機器が高度化したことにより、国内外から遺伝子疾患治療薬や PHR アプリ、リアルワールドデータを活用するベンチャー企業も多数出展していました。



3 日目、つくばデジタルバイオ国際拠点の紹介とプロジェクトについてのプレゼンテーションを行いました。



多くの方がプレゼンテーションを聴きに訪れ、足を止めて耳を傾ける方もいらっしゃいました。



※BioJapan / 再生医療 JAPAN / healthTECH JAPAN とは バイオテクノロジーを軸として、医薬・創薬からバイオエコノミーの分野まで幅広い研究開発・技術、製品が集う総合展「BioJapan」と、遺伝子・細胞治療など再生医療製品にフォーカスを当てる「再生医療 JAPAN」、そして「ヘルスケアとデジタルの融合」をコンセプトに従来の医薬品の枠を超える新たなソリューション・サービスの創出を目指す

「healthTECH JAPAN」の 3 展で同時開催いたします。抗体医薬やペプチド医薬、遺伝子・細胞治療、さらにはデジタルを活用した DTx (デジタルセラピューティクス) まで、現在の医薬品開発市場は「マルチモダリティー」時代を迎えています。当展はこのトレンドを踏まえ、多様なモダリティーに対応した展示会を同時開催することにより、各分野のプロフェッショナルと協業を目指す企業・団体を一堂に集め、新たなイノベーション創出に寄与することを目指します。

BioJapan 公式 HP <https://jcd-expo.jp/ja/>

【本拠点に関するお問い合わせ・記事の掲載希望などのご連絡はこちら】
筑波大学共創の場事務局
digitalbioeco@md.tsukuba.ac.jp
つくばデジタルバイオ国際拠点ウェブサイト
<https://tsukubadigitalbio.jp/>